

【別紙様式 I】 令和4年度 学校評価報告書

学校名 厚木市立荻野中学校

厚木市教育委員会の基本目標	1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】	校長名 土屋 暁子
---------------	--	-----------

学校教育目標	学校経営の方針
心豊かで、心身ともにたくましく、思いやりの心を持ち、正しく判断し行動できる生徒の育成	安心安全が保たれた学校であってこそ生徒がいきいき活動できる。いじめに対する早期発見、早期対応、また、道徳教育を充実させ、自他の生命を尊重する心を育てる教育を進めていく。生徒が元氣な挨拶を交わし、期待を胸に登校する。そんな「通いたい学校創り」に邁進したいと考える。

今年度の重点目標

『生徒にとって楽しい学校(通いたい学校)創り』実現に向け

①生徒の自主的な活動への支援(応援)(※生徒に考えさせる指導の充実)

②わかる授業の実践と生徒の主体的な学習への支援

③相談活動と生徒に向き合う時間の充実

※誉めることを大切にする指導

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
学習指導要領を踏まえた教育課程の編成の充実	1. 2. 3	PDCAサイクルをいかし、学習指導要領を踏まえた教育課程の編成と教育計画を作成する。	前年度と比べるとほぼ計画通りに教育活動を進めることができた。学習に落ち着いて参加し、行事等では自主的に活動する生徒の姿が見られた。感染症対策のための制限を幾分緩め、保護者や学校運営協議会の方に学校に入っていたり機会を設けることができ、学校教育を概ね理解していただくことができた。	今年度の取組を継続させつつ、保護者や学校運営協議会での意見を参考にし、カリキュラムマネジメントの充実を図れるような教育課程を編成していく。
教員のICT活用指導力の向上とICTを活用した「わかる授業」の展開	1・3	ICT教育の向上を校内研究会のテーマとし、ICT機器を使用した授業づくりや単元テストの方法等について検証を進めた。	教員同士で検討、検証する場を設定することが指導者のICT活用のスキル向上につながり、学習端末や電子黒板の使用による授業改善を進めることができた。また、授業での積極的な活用が、生徒の興味・関心を高め、授業への理解度をあげることができた。	次年度の全国学力・学習状況調査でも学習端末の使用が予定されているように、学習活動にICTを活用するのがあたりまえの状況になっている。今年度の結果を生かして、ICTを効果的に使った授業や単元テストを積極的に実施していく。
人権教育の推進	2	教職員の人権感覚を磨くため、職員会議でミニワーク等を取り入れた。生徒には朝読書の時間を利用して「人権読み聞かせ」を定期的を実施した。また、12月の人権週間での読み聞かせで書いた感想を全校生徒で共有した。	職員や生徒間での人権意識を高めることに役立った。保護者の学校評価アンケートの「命を大切にする心の育成」という項目でも良い評価を得ている。読み聞かせ以外でも日ごろの授業や諸活動では人権を意識した指導を行っているが、今後更に人権意識がより深く浸透するような取組が必要である。	人権教育の視点に立ったSDGsを、各教科、各グループ(分掌)で、これまで行ってきた取組の中から明確にすることで、人権週間だけではなく日ごろから「自他ともに認め合い思いやる心」を育てられるような取組を進めていく。
キャリア教育の充実	1. 2. 3	1年生は職業調べ、2年生は職業講話、3年生は進路説明会や上級学校説明会などの進路行事を実施した。	1・2年生とも生徒の意欲的な活動がみられた。特に2年生の職業講話のまとめ発表会を1年生が参観することで、卒業後の進路への意識付けにつながった。今年度もコロナ禍のため体験や説明会等が制限されており、活動内容の工夫が求められた。	総合的な学習の時間に3年間を貫くテーマを設定し、探究的な学習の一環として職業学習、進路学習の時間を確保し、自己の生き方を見据えたキャリア教育の充実を図る。

生徒理解の促進と相談活動の充実	2・3	毎月の教育相談優先日、年2回の教育相談週間を設定し、生徒が相談しやすいように時間を確保している。毎月の教育相談週間前には生活アンケートを実施し、生徒の困り感をキャッチすることに努めている。	定期的に教育相談日を設定することが「チャンス相談」にもつながり、生徒理解と支援につながった。非常に大切な時間であるが、相談優先日は相談時間の後に委員会や会議が設定されることもあり、時間の確保の仕方が課題となってくる。	教育相談優先日、教育相談週間の設定は継続して行う。教育相談週間については、次年度は1学期は6月に加え、4月にも実施をする。さらに生徒が担任以外にも相談をできるような取組を進めていく。
今年度の学校関係者評価委員会からの意見				
学校運営協議会委員の方々から、学校行事を見学して「生徒がよく動く」「いきいきしている」「日ごろの教育活動が出ている」といったご意見をいただいた。PTAの方々からも同様のご意見をいただいた。				
今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針				
感染症対策を取りながら、生徒が落ち着いて学習に取り組むことができる環境づくりや、生徒が自主的に活動できるような教育活動を進めることができた。次年度は「思いやりの心の育成」「確かな学力の向上」「安心安全な環境づくり」「未来を拓く力の伸長」を柱とし、引き続き「人権教育」の視点に立った教育活動を充実させることで、生徒が生き生きと活動し、また、保護者や地域の方から見守り、支えていただける学校創りに、教職員一同尽力していきたい。				